

留 政 企 第 542 号

平成 20 年 10 月 14 日

国土交通省道路局長 様

留萌市長 高 橋 定 敏



今後の道路行政についての意見・提案の提出について（回答）

平成 20 年 9 月 19 日付国道企第 37 号により依頼のありました、標記の件につきまして、別紙のとおり回答いたしますのでよろしくお願い致します。

留萌市政策経営室企画調整課

TEL 0164-42-1809

担当 伯谷

①道路行政全般について改善すべき点、要望や提案など

- 北海道は広域分散型社会を形成しており、人的移動・物流の大半を自動車交通に依存していることから、道路は地域住民や経済・社会活動・圏域間の連携、地域振興等を支える最も重要な社会基盤であり、また地域医療の充実や住民の安全・安心を向上させる面からも重要な役割を担っており、今後国・道・市の責務において道路行政の充実を図っていく必要がある。

具体的な項目としては北海道の魅力や食糧基地としてのポテンシャルを伸ばすような社会の実現に向けた道路施策の実施であり、「地域の活性化につながる道路」、「災害に強い道路」、「産業振興につながる道路」、「地域住民の暮らしを豊にする道路」といった複合的な視点による道路整備の検討の中で、港湾・漁港をはじめとする地域インフラ整備と柔軟に連携し施策を進め、また「使いやすい高速サービスの提供」や「高次医療施設への広域的アクセスの強化」、「地域住民の安全・快適な日常を支える道路」等、それぞれの道路が持つ機能分

化を明確にし、道路が期待されている機能をより一層充実させる必要がある。

さらに、冬期間でも安心して運転できるように、冬期道路の状況に配慮した道路整備や、きめ細やかな除雪など地域の実態を踏まえた取り組みを進めるなど必要がある。

- 策定中であった道路中期計画(素案)においては、高規格幹線道路の評価方法として、客観的判断ができるB/C(費用対便益)手法を用いていた。

しかしながら、留萌市においては北・北海道の物流の玄関である重要港湾(留萌港)を有し、道路の高速化によって一次産品の鮮度が保持されたまま消費地へ移出入が可能となり市場での付加価値のアップやブランド力の向上、港湾利活用の促進につながったり、また、医療の面においては、当市には第2次医療圏の中核病院である留萌市立病院が設置され、地域の基幹病院としての役割を果たしているが、より高度な3次医療圏への搬送が必要な時も多くあり搬送時間の短縮が、救急救命や早期処置による救命率の向上につながるなど、単に建設費用や交通量だけで評価するのではなく、地域の重要性・特殊事情も考慮すべきである。

○現状	○課題
道路整備については、「第5次留萌市総合計画(H19～28)」の道路に関する市民満足度の成果指標の向上を目指し、「留萌市第2次道路整備五ヵ年計画(H19～23)」に基づき進めている。 橋りようについては、阪神・淡路大震災で橋りよう落下による被害が顕在化し、橋梁の耐震基準が大幅に改定された。これを受け新設のみならず、改訂以前に設置された橋りようも改善措置をとるよう国から指導を受けているが、新基準で作られた橋りよう以外には未だに対応が進んでいない 除雪については車両通行と通学路の確保を重点に除排雪を実施している。また、坂道対策としてロードヒーティングも実施している。	財政事情により「留萌市第1次道路整備五ヵ年計画(H14～18)」は計画に対する整備率が 38.2%の実績であり、「留萌市第2次道路整備五ヵ年計画」も計画どおり進んでいない。幹線道路の計画的な整備、災害時の避難路の確保、損傷の著しい箇所の維持補修が課題である。 橋りようについての課題は、財政事情により耐震基準の改定に対応できていないのが課題である。 都市機能の発展、除雪に対する市民ニーズの高まりなどを背景として、きめ細やかな除雪が求められているが、一方で宅地内からの道路への雪だしなどモラルハザードによる交通障害が生じている。 また、坂道対策として行っているロードヒーティングも 10 年以上が経過し、老朽化が進み補修の増加や稼働不良、光熱費の増大も顕著になっており、施設の更新の是非、一部稼働の休止についても検討が必要である。

第5次留萌市総合計画の基本テーマは「誇りと満足を目指す みなとまち留萌」である。そのまちづくりを目指す過程において住民生活の利便性や経済活動に大きく関わる道路や留萌のシンボルでもある港の果す役割は多大である。

このことを踏まえ、第5次留萌市総合計画の基本理念のひとつである「市民満足度の向上」を目指すべく、道路・港についての成果指標である「身近な生活道路整備に対する満足度」、「他都市への交通の利便性に対する満足度」、「高齢者や障がい者など、すべての歩行者にやさしい道路整備に対する満足度」、「除雪満足度」、「除雪マナーの遵守と市民相互の協力に対する満足度」、「留萌港取扱貨物量」「留萌港に魅力や親しみを感じる市民の役割」、「港を活かしたまちづくりに対する満足度」の向上を図る必要がある。

そのためには、交通基盤の整備が進み、陸・海・空のネットワークにより留萌港の経済圏である上川・空知地域とのアクセスの向上、市内幹線道路のネットワークの整備が進むことによる都市機能の向上、道路の段差や凹凸等の解消がはかられ安全で人に優しく快適な生活道路の整備、災害に強い道路・橋りょうの整備、市民の協力和効率的な除排雪による快適な冬の生活等、整備された都市環境を生かし快適・効率的・便利な都市機能を目指した道路づくりを進める。

今後の道路行政についての意見・提案

③道路施策の重点事項(代表事例、期待する効果や評価等)

様式 ④-1

北海道留萌市

○重点事項 地域活力の向上	○代表事例 重要港湾へのアクセスの向上 (深川・留萌自動車道、留萌拡幅事業)	○期待する効果や評価等 留萌港背後圏である上川・北空知等の道北圏域は、日本の食糧基地である北海道を代表する大農業地でありながら、現状では遠距離の陸上輸送を強いられ、流通コストの多大な負担が地域経済発展を阻害する一因となっており、重要港湾のアクセスの向上により、背後圏からの留萌港活用の要望はさらに高まりを見せ、国内はもとより海外への海上輸送システムの充実が図られる。	○その他
少子・高齢社会に対応した子育て環境、バリアフリー社会の形成。	地域拠点都市間のネットワーク網・アクセスの強化 (深川・留萌自動車道、留萌拡幅事業) 人にやさしい、安全な道路づくり	留萌市から旭川、札幌市へのネットワーク網・アクセスが強化されることにより、輸送時間・コストの低減による留萌地方の農作物・水産品の市場競争力の強化、市場圏の拡大による地域産業の活性化、圏域外交流の拡大、高次医療施設への救急患者の輸送など、留萌地域の根幹的な社会基盤に与える影響は多大である。 通学路を主とした歩道の設置、歩道・横断歩道への安全性の配慮、交差点の改良、道路の段差、凹凸の解消等により、子供・障がい者・高齢者など、すべての歩行者にやさしい整備が推進されることにより、快適で安全な住み良い都市形成が図られる。	

今後の道路行政についての意見・提案

③道路施策の重点事項(代表事例、期待する効果や評価等)

○重点事項	○代表事例	○期待する効果や評価等	○その他
大規模な地震、火災に強い国づくり等 ・自然的条件の厳しい地域への対応	災害時の広域的救援ルート確保 冬にも強い道路対策の強化	地震、台風、大雨等による災害時に對し、避難路、迂回路の整備、橋の補強などの整備を進めることにより住民の安全が確保されとともに、北・北海道での大規模災害時においては港を活用した救援物資の基地としての役割が期待される。 雪崩予防柵の設置、冬道通行止め区間の解消対策、除排雪の充実、地吹雪対策等が進むことにより、冬期間における、交通事故の減少、災害対策への迅速が確保されとともに、冬期間における新たな地域間交流の促進や生活の利便性の向上が図られることが期待される。	